金融と日本銀行

名前

問1　日本の金融システムにおいて、家計が銀行などの金融機関へ預け入れた預金を原資として、その金融機関が自らの判断で企業などに対して資金の貸し出しを行う仕組みを何といいますか。（2026年 富山県公立入試 類似）

1. 直接金融
2. 間接金融
3. 公開市場操作
4. 財政政策

問2　日本の金融システムにおける「間接金融」の説明として、資金の流れや特徴を正しく述べているものはどれですか。（2026年 北海道公立入試 類似）

1. 政府が税金を主な財源として、公共事業などの公共サービスを提供する。
2. 金融機関が仲介役となり、預金者から集めた資金を必要とする企業へ貸し出す。
3. 日本銀行が景気調整のために、民間金融機関との間で国債などを売買する。
4. 企業が株式や社債を発行し、証券市場を通じて投資家から直接資金を調達する。

問3　好景気によって企業の生産活動が活発になり、インフレーションが発生している状況下での「物価」と「貨幣（お金）の価値」の関係について述べた文として、正しいものはどれですか。（2026年 福岡県公立入試 類似）

1. 物価が上昇するため、相対的に貨幣の価値も上がる
2. 物価が下落するため、相対的に貨幣の価値は上がる
3. 物価が上昇するため、相対的に貨幣の価値は下がる
4. 物価が下落するため、相対的に貨幣の価値も下がる

問4　日本銀行は、一般の銀行に対して資金の貸し出しや国債の売買を行うことから「銀行の銀行」と呼ばれます。この役割に関連して、日本銀行が景気や物価の安定を図るために行う、一般の銀行との間での国債の売買などを通じた通貨量の調節を何と呼びますか。（2018年 熊本県公立入試 類似）

1. 公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）
2. 財政投融資計画
3. 直接税と間接税の比率調整
4. 預金準備率操作

問5　保険会社が提供するサービスには、大きく分けて人間の生死や病気に関わるものと、偶然の事故による財産の損失に関わるものの2種類があります。このうち、建物の火災や自動車事故による損害を補償する保険の名称として適切なものを選びなさい。（2021年 千葉県公立入試 類似）

1. 社会保険
2. 雇用保険
3. 生命保険
4. 損害保険

問6　日本の実質経済成長率の推移をたどると、2008年から2009年にかけて数値が急落し、2009年度にマイナス5.7%という極めて低い数値を記録した時期があります。この要因となった世界的な経済危機の名称として正しいものはどれですか。（2024年 千葉県公立入試 類似）

1. 第1次石油危機（オイル・ショック）
2. プラザ合意後の円高不況
3. 世界金融危機（リーマン・ショック）
4. アジア通貨危機

問7　日本銀行は2024年7月に、偽造防止を目的として20年ぶりに新しい日本銀行券（紙幣）を発行しました。紙幣には江戸時代の藩札から続く「すかし」の技術や、明治時代以降から続く肖像画の採用など、高度な技術が盛り込まれています。このような紙幣の発行や、政府の資金の管理を行う日本銀行に関する記述として、誤っているものはどれか選びなさい。（2024年 宮城県公立入試 類似）

1. 国の予算案を作成し、予算をどのように使うかの計画を決定する。
2. 景気を調整するために、世の中に出回る通貨の量を調節する政策を行う。
3. 政府が納めた税金の管理や、政府からの支払い事務を行う（政府の銀行）。
4. 日本銀行券を発行する唯一の機関としての役割（発券銀行）を持つ。

問8　日本銀行が「公開市場操作（売りオペレーション）」を行う背景として、物価の動向と市場の仕組みを説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 茨城県公立入試 類似）

1. 政府の税収が不足しているとき、日本銀行が国債を売ることで得た利益を直接、公共事業の資金に充てて景気を下支えするため。
2. 好景気によって物価が上がりすぎると、貨幣の価値が相対的に下がり国民生活が不安定になるため、通貨量を絞り物価を安定させる必要があるから。
3. 不況によって物価が下落しているとき、企業の資金繰りを助けるために通貨量を増やす必要があるため。
4. 円安が進みすぎた際に、日本銀行が国債を売ることで強制的に円高へと誘導し、輸出企業の利益を拡大させるため。

問9　日本銀行の役割についての説明として、正しいものはどれですか。（2018年 兵庫県公立入試 類似）

1. 外国の政府から直接税金を集める
2. 日本銀行券という紙幣を発行する
3. 町にあるスーパーでお買い物をする
4. 一般の人や会社にお金を貸し出す

問10　日本銀行の役割の一つである「銀行の銀行」について、その具体的な活動内容を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2020年 山形県公立入試 類似）

1. 国の予算を管理し、税金の徴収や公共事業への支払いを代行する。
2. 新しい貨幣や紙幣のデザインを決定し、国内のすべての銀行へ強制的に配布する。
3. 民間の金融機関（市中銀行）との間で、資金の貸し付けや預金の預かりを行う。
4. 一般の個人や企業に対して、住宅ローンや事業資金の融資を直接行う。

問11　日本銀行が景気の停滞期に行う「買いオペレーション」という金融政策において、市場の通貨量を増やすためにとられる具体的な手法はどれですか。（2020年 山形県公立入試 類似）

1. 民間銀行へ国債を売却し、代金を回収することで市場に流通するお金を減らす
2. 日本銀行の預金金利を引き上げることで、家計が銀行に預けるお金を増やす
3. 民間銀行から国債を買い取り、代金を支払うことで市場に流通するお金を増やす
4. 政府が増税を行い、景気の過熱を抑えることで物価を安定させる

問12　日本銀行がインフレーションを抑制するために金利を上げる「金融引き締め」を行った場合、その影響として予測される社会の動きについて述べたものとして正しいものはどれですか。（2024年 北海道公立入試 類似）

1. 企業の利息負担が軽くなるため、新しい工場や機械を導入する設備投資が活発になり、雇用が増加する。
2. 円の価値が相対的に低くなるため、輸出企業の国際競争力が高まり、日本からの輸出額が大幅に増加する。
3. 銀行の預金金利が下がるため、人々は貯蓄をせずに消費を増やすようになり、景気がさらに良くなる。
4. 住宅ローンの金利が上昇するため、住宅を購入しようとする個人が減り、不動産市場の過熱が収まる。

問13　キャッシュレス決済の仕組みと通貨の性質について述べた次の文のうち、最も適切なものはどれか。（2025年 青森県公立入試 類似）

1. キャッシュレス決済で使われる電子データは、日本銀行が発行する現金通貨と同じ法的強制力を持つ。
2. キャッシュレス決済が普及すると、通貨の持つ「交換手段」としての機能は失われることになる。
3. 銀行の預金は、利子を得るための貯蓄手段であり、支払い手段としての通貨の性質は持たない。
4. クレジットカード決済などは、銀行にある預金を通貨のように機能させて支払いを行っている。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 間接金融	資金の出し手（家計）と受け手（企業）の間に、銀行などの金融機関が介在して資金を仲介する仕組みです。家計は銀行に預金を行い、銀行はその資金をまとめて企業に融資します。貸し出し先の選定やリスク管理を金融機関が行う点が特徴です。
問2	答え 2 金融機関が仲介役となり、預金者から集めた資金を必要とする企業へ貸し出す。	間接金融は、銀行などの金融機関が「仲介者」として機能することが最大の特徴です。預金者は銀行に資金を預け、銀行はその資金をまとめて企業などに貸し出します。これに対し、企業が証券市場で株式などを発行して投資家から直接資金を得る仕組みは「直接金融」と呼ばれます。
問3	答え 3 物価が上昇するため、相対的に貨幣の価値は下がる	インフレーションが起こると、これまで100円で買えていたものが120円出さないと買えなくなるなど、モノの値段（物価）が上がります。これは、同じ金額の貨幣で交換できるモノの量が減ることを意味するため、貨幣の価値は実質的に低下することになります。
問4	答え 1 公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）	日本銀行が一般の銀行との間で国債などを売買することにより、市場に流通する通貨（マネーストック）の量を増やしたり減らしたりする仕組みを公開市場操作といいます。これは「銀行の銀行」という立場を利用した代表的な金融政策であり、景気が悪いときには国債を買い入れて市場に資金を供給し、景気が過熱しているときには国債を売って市場の資金を吸収することで、物価と経済の安定を図っています。
問5	答え 4 損害保険	保険会社が扱う民間保険は、主に「生命保険」と「損害保険」に分かれます。生命保険は人の生存や死亡に対して保険金が支払われるのに対し、損害保険は火災、地震、交通事故など、偶然の事故によって生じた実際の損害を埋め合わせることを目的としています。なお、国や地方公共団体が運営し、加入が義務付けられているものは社会保険と呼ばれます。
問6	答え 3 世界金融危機（リーマン・ショック）	2008年に発生した世界金融危機は、2009年度の日本経済に深刻な打撃を与え、大幅なマイナス成長をもたらしました。これは1974年度に第1次石油危機の後に記録した戦後初のマイナス成長を大きく下回る落ち込みでした。このように、グローバル化した現代の経済では、他国で発生した金融不安が短期間のうちに日本へ波及する仕組みになっています。
問7	答え 1 国の予算案を作成し、予算をどのように使うかの計画を決定する。	日本銀行は政府の資金の出し入れや管理を行いますが、国の予算案そのものを作成するのは政府（内閣）の仕事であり、その予算を審議・議決するのは国会の役割です。日本銀行はあくまで中央銀行としての立場から、通貨価値の安定や経済の健全な発展のために機能する機関であり、行政機関である内閣とは役割が明確に区別されています。
問8	答え 2 好景気によって物価が上がりすぎると、貨幣の価値が相対的に下がり国民生活が不安定になるため、通貨量を絞り物価を安定させる必要があるから。	物価が持続的に上昇するインフレーションが起こると、同じ金額で買えるものが少なくなる（＝貨幣価値の下落）ため、国民生活に悪影響を及ぼします。日本銀行の重要な役割の一つは「物価の安定」であり、売りオペレーションを通じて市中の通貨量を減らすことで、過度な経済の過熱を冷やし、物価をコントロールしようとします。
問9	答え 2 日本銀行券という紙幣を発行する	日本銀行は「発券銀行」とも呼ばれ、私たちが普段使っているお金（日本銀行券）を発行できる唯一の銀行です。一般の銀行とちがい、私たち一人ひとりが直接お金を借りたり預金したりすることはできません。
問10	答え 3 民間の金融機関（市中銀行）との間で、資金の貸し付けや預金の預かりを行う。	「銀行の銀行」とは、私たち個人や企業ではなく、民間の金融機関を相手に取引を行う役割のことです。日本銀行は民間の銀行から預金を預かったり、資金が不足している銀行に対して融資を行ったりすることで、金融システム全体の安定を図っています。一般の個人や企業が日本銀行に口座を作ったり、直接お金を借りたりすることはできません。
問11	答え 3 民間銀行から国債を買い取り、代金を支払うことで市場に流通するお金を増やす	景気が悪い時期には、日本銀行が市場の資金供給量を増やすことで経済を活性化させようとします。日本銀行が一般の銀行が所有する国債を買い取る（買いオペレーション）と、その代金が銀行側に渡るため、世の中に出回るお金の量が増加します。これにより、金利が低下し、消費や投資が促される効果があります。
問12	答え 4 住宅ローンの金利が上昇するため、住宅を購入しようとする個人が減り、不動産市場の過熱が収まる。	金利が上昇すると、お金を借りる際の手数料（利子）が高くなります。これにより、大きな買い物である住宅の購入を控える人が増えたり、企業が投資を縮小したりするため、景気が冷え込む方向に働きます。これは、上がりすぎた物価（インフレーション）を落ち着かせるための意図的な動きです。金利が上がれば通常、預金金利は上昇し、通貨（円）の価値は高まる傾向にあります。
問13	答え 4 クレジットカード決済などは、銀行にある預金を通貨のように機能させて支払いを行っている。	通貨には、価値を測る「尺度」、支払いに使う「交換手段」、価値を保存する「貯蔵」の機能がある。銀行にある預金は、単に貯蓄されるだけでなく、キャッシュレス決済などを通じて口座振替で支払いに利用されるため、「預金通貨」として交換手段の役割も果たしている。